

# 問 建設を中断し 説明責任を果たせ

答 交流館、自信を持ってすすめる

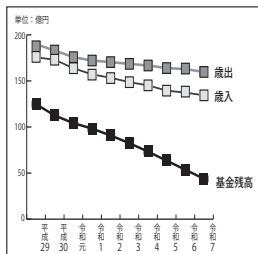


みすずの会  
えり 恵利 議員

**問** 団塊の世代が後期高齢者になる2025年。さらに2040年頃には高齢者人口が最大に。行政運営が厳しくなる予測から、公共施設のあり方を考える必要がある。歴史と未来の交流館建設について財政的に大丈夫とする根拠は何か。

**答** 2022年に新規の大規模事業所の操業により村税が増える見込み。繰越金の活用や剰余金積み立てを行うことで、財政調整基金が大きく減少することはないと見込む。

**問** 新規事業所の操業



東海村長期財政見通しより

**答** 6年かけて進めており、村民の期待と村長の決意である。

**問** 人口増・税収増の施策はどの自治体でもやっている。見込が甘いと思う。なぜ、交流館の建設が今なのか。

**答** 移住・定住促進や地域経済の活性化を進めることで、誰もが住みたくなる村、魅力あるまちを形成し、税収増を期待する。

で一時的に村税が増え、単年度で健全性が保たれたとしても、村の長期見通しでは財政調整基金の取り崩しを毎年予定、税収や基金は徐々に減っている。これでは健全な財政状況とは言えないが考えは。

## 6月定例会日程(予定)

期日	時間	内容
6月 3日(月)	午前10時～	開会
6月11日(火)	午前10時～	一般質問
6月12日(水)	午前10時～	一般質問
6月13日(木)	午前10時～	一般質問
6月14日(金)	午前 9時～	予算決算委員会
6月17日(月)	午前10時～	予算決算委員会
6月20日(木)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

村内各コミュニティセンターと総合福祉センター「絆」にてライス配信を行っています。



## 表紙写真の紹介



3月30日東海まるごと博物館事業の一環として、「石神城さくらまつり」が行われました。当日は、気温も低くあいにくの天候でしたが、石神城ガイド、クイズラリー、弓矢・射的・昔遊びなどのイベントもあり、多くの方が楽しみました。

写真は、4月から中学生になる友達が、開花し始めた桜の下でおやつを食べているところです。